

平成 31 年 2 月 7 日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

2019 年 3 月期 第 3 四半期決算について

当社の 2019 年 3 月期第 3 四半期(2018 年 4 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日まで)における四半期決算について、別添のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019 年 3 月期 第 3 四半期決算短信
 - ・ 四半期連結貸借対照表
 - ・ 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 等
2. 2019 年 3 月期 第 3 四半期決算短信 説明資料

以 上

【本件に関するお問合せ先】

総合企画部 主計室 濱・浦辺

TEL 083-223-5518



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月7日

上場会社名 株式会社 山口フィナンシャルグループ
 コード番号 8418 URL <http://www.ymfg.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 吉村 猛

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部主計室長

(氏名) 濱 謙太郎

TEL 083-223-5511

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

特定取引勘定設置の有無 有

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	121,034	1.0	24,855	36.9	17,446	35.6
2018年3月期第3四半期	122,248	2.6	39,363	6.4	27,070	7.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 6,972百万円 (%) 2018年3月期第3四半期 46,494百万円 (58.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	72.22	62.27
2018年3月期第3四半期	109.94	91.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	10,256,883	653,264	6.3
2018年3月期	10,366,547	660,451	6.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 646,770百万円 2018年3月期 654,113百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		10.00		10.00	20.00
2019年3月期		11.00			
2019年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	3.3	39,000	18.5	26,000	21.0	106.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	264,353,616 株	2018年3月期	264,353,616 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	10,802,430 株	2018年3月期	17,852,881 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	241,571,933 株	2018年3月期3Q	246,232,965 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に「2019年3月期第3四半期決算短信説明資料」として添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
3. 2019年3月期 第3四半期決算短信 説明資料	P. 8 ~ 17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は資金運用収益や役務取引等収益の減少等を主因として、前年同期比12億14百万円減少して1,210億34百万円となりました。一方、経常費用はその他業務費用、与信関係費用の増加等を主因として、前年同期比132億95百万円増加して961億79百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比145億8百万円減少して248億55百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比96億24百万円減少して174億46百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末比1,097億円減少して10兆2,568億円となり、純資産はその他有価証券評価差額金の減少を主因に前連結会計年度末比72億円減少して6,532億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金及び譲渡性預金は前連結会計年度末比1,053億円減少して9兆2,504億円、貸出金は前連結会計年度末比1,401億円増加して7兆2,979億円、有価証券は前連結会計年度末比2,882億円減少して1兆4,396億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2018年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
現金預け金	985,502	931,924
コールローン及び買入手形	77,436	170,284
買入金銭債権	8,403	7,171
特定取引資産	1,514	1,328
金銭の信託	40,923	24,254
有価証券	1,727,835	1,439,684
貸出金	7,157,836	7,297,941
外国為替	17,851	22,643
リース債権及びリース投資資産	16,034	17,586
その他資産	189,613	196,316
有形固定資産	94,502	93,782
無形固定資産	10,944	10,888
退職給付に係る資産	44,704	47,328
繰延税金資産	1,083	1,227
支払承諾見返	44,048	49,911
貸倒引当金	△51,689	△55,391
資産の部合計	10,366,547	10,256,883
負債の部		
預金	8,739,092	8,767,969
譲渡性預金	616,658	482,501
コールマネー及び売渡手形	62,288	5,616
債券貸借取引受入担保金	46,883	130,187
特定取引負債	493	424
借入金	29,799	29,029
外国為替	127	446
新株予約権付社債	63,744	33,300
その他負債	67,771	80,359
賞与引当金	3,232	1,512
退職給付に係る負債	1,797	1,886
役員退職慰労引当金	279	285
利息返還損失引当金	22	19
睡眠預金払戻損失引当金	1,672	1,271
ポイント引当金	71	74
役員株式給付引当金	251	301
特別法上の引当金	27	27
繰延税金負債	16,962	7,624
再評価に係る繰延税金負債	10,871	10,868
支払承諾	44,048	49,911
負債の部合計	9,706,096	9,603,618

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	60,882	58,684
利益剰余金	470,696	482,917
自己株式	△22,107	△14,862
株主資本合計	559,471	576,739
その他有価証券評価差額金	59,926	36,018
繰延ヘッジ損益	△167	△881
土地再評価差額金	24,532	24,525
退職給付に係る調整累計額	10,349	10,367
その他の包括利益累計額合計	94,641	70,030
新株予約権	358	208
非支配株主持分	5,978	6,285
純資産の部合計	660,451	653,264
負債及び純資産の部合計	10,366,547	10,256,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
経常収益	122,248	121,034
資金運用収益	75,507	74,868
(うち貸出金利息)	55,884	57,934
(うち有価証券利息配当金)	18,796	15,911
役務取引等収益	20,808	17,984
特定取引収益	2,469	1,979
その他業務収益	12,702	16,736
その他経常収益	10,760	9,465
経常費用	82,884	96,179
資金調達費用	5,900	7,555
(うち預金利息)	3,601	4,740
役務取引等費用	6,627	6,673
その他業務費用	12,807	20,663
営業経費	54,121	53,914
その他経常費用	3,427	7,370
経常利益	39,363	24,855
特別利益	666	3
固定資産処分益	0	3
移転補償金	289	-
退職給付信託返還益	376	-
特別損失	237	86
固定資産処分損	26	73
減損損失	210	13
金融商品取引責任準備金繰入額	0	-
税金等調整前四半期純利益	39,792	24,771
法人税、住民税及び事業税	9,806	6,326
法人税等調整額	2,469	804
法人税等合計	12,276	7,130
四半期純利益	27,515	17,640
非支配株主に帰属する四半期純利益	445	194
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,070	17,446

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	27,515	17,640
その他の包括利益	18,979	△24,613
その他有価証券評価差額金	18,303	△23,917
繰延ヘッジ損益	115	△713
退職給付に係る調整額	560	17
四半期包括利益	46,494	△6,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,039	△7,157
非支配株主に係る四半期包括利益	455	185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2018年5月11日開催の取締役会決議に基づき、第1四半期連結累計期間において、自己株式14,644千株(20,603百万円)の取得を行っております。また、当第3四半期連結累計期間において、2018年満期ユーロ米ドル建取得条項付転換社債型新株予約権付社債の権利行使に伴い、自己株式21,184千株を処分し、自己株式が27,421百万円、資本剰余金が2,624百万円それぞれ減少しております。

この結果、自己株式が7,244百万円、資本剰余金が2,197百万円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は14,862百万円、資本剰余金は58,684百万円となっております。

2019年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況		
(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】	----	9頁
(2) 3行合算【単体】	----	10頁
(3) 単体		
①山口銀行	----	11頁
②もみじ銀行	----	12頁
③北九州銀行	----	13頁
2. 金融再生法ベースの категорияによる開示	----	14頁
3. 時価のある有価証券の評価差額	----	15頁
4. 預金・貸出金等の状況		
(1) 預金・譲渡性預金の残高	----	16頁
(2) 個人預り資産の残高	----	16頁
(3) 貸出金の残高	----	17頁
5. 自己資本比率	----	17頁

※本資料は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益の状況

(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】

- ・ 経常収益は、資金運用収益や役員取引等収益の減少等を主因として、前年同期比12億14百万円減少して1,210億34百万円となりました。
- ・ 経常利益は、資金利益や役員取引等利益の減少、与信関係費用の増加等を主因として、前年同期比145億8百万円減少して248億55百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比96億24百万円減少して174億46百万円となりました。
- ・ コア業務純益は、資金利益や役員取引等利益の減少等を主因として、前年同期比86億6百万円減少して220億55百万円となりました。

	2019年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
連結経常収益	121,034	△ 1,214	122,248		161,280
連結業務粗利益	76,684	△ 9,483	86,167		110,861
資金利益	67,322	△ 2,298	69,620		90,759
役員取引等利益	11,310	△ 2,871	14,181		18,483
特定取引利益	1,979	△ 490	2,469		3,535
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 3,927 (923)	△ 3,822 (△ 1,745)	△ 105 (2,668)		△ 1,916 (1,828)
経費(除く臨時処理分)(△)	53,705	868	52,837		70,524
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	22,979	△ 10,350	33,329		40,337
連結コア業務純益	22,055	△ 8,606	30,661		38,508
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	235	235	-		△ 608
連結業務純益	22,743	△ 10,586	33,329		40,945
臨時損益	2,120	△ 3,928	6,048		6,896
うち株式等関係損益	5,607	△ 2,160	7,767		9,672
うち不良債権処理額(△) ②	4,030	3,849	181		1,826
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	△ 682	682		-
うち償却債権取立益 ④	16	△ 4	20		28
経常利益	24,855	△ 14,508	39,363		47,824
特別損益	△ 83	△ 511	428		493
税金等調整前四半期(当期)純利益	24,771	△ 15,021	39,792		48,317
法人税等合計(△)	7,130	△ 5,146	12,276		14,877
四半期(当期)純利益	17,640	△ 9,875	27,515		33,440
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益(△)	194	△ 251	445		523
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	17,446	△ 9,624	27,070		32,916
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	4,249	4,771	△ 522		1,188

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用 + 信託報酬) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
3. 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 連結業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
4. 連結コア業務純益 = 連結業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
5. 連結業務純益 = 連結業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額
6. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(ご参考)

連結子会社数	17	1	16	16
持分法適用会社数	2	△ 1	3	2

(2) 3行合算【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期 (9カ月)		前年同期比	2018年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 (参考) (年間)
経常収益	107,015		196	106,819		141,534
業務粗利益	69,439		△ 8,567	78,006		99,690
資金利益	68,118		△ 1,932	70,050		91,355
役務取引等利益	6,701		△ 2,773	9,474		12,176
特定取引利益	△ 2		△ 25	23		23
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 5,378 (923)		△ 3,837 (△ 1,745)	△ 1,541 (2,668)		△ 3,864 (1,828)
経費(除く臨時処理分)(△)	43,059		△ 450	43,509		57,478
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	26,380		△ 8,117	34,497		42,211
コア業務純益	25,456		△ 6,373	31,829		40,382
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	76		861	△ 785		△ 685
業務純益	26,304		△ 8,978	35,282		42,896
臨時損益	2,037		△ 2,893	4,930		6,679
うち株式等関係損益	5,204		△ 2,302	7,506		9,411
うち不良債権処理額(△) ②	3,738		3,501	237		1,792
うち貸倒引当金戻入益 ③	-		-	-		-
うち償却債権取立益 ④	9		△ 7	16		24
経常利益	28,331		△ 11,867	40,198		49,558
特別損益	△ 65		△ 434	369		452
税引前四半期(当期)純利益	28,265		△ 12,302	40,567		50,010
法人税等合計(△)	6,426		△ 4,634	11,060		13,425
四半期(当期)純利益	21,838		△ 7,669	29,507		36,584

与信関係費用(①+②-③-④)(△)	3,805	4,369	△ 564	1,082
--------------------	-------	-------	-------	-------

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
4. 一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を合算して、取崩超過となっている場合は、3行合算上はそれぞれの勘定に戻した上で合計しております。
5. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(3) 単体
①山口銀行

- ・ 経常収益は、資金運用収益や国債等債券売却益の増加等を主因として、前年同期比26億92百万円増加して655億68百万円となりました。
- ・ 経常利益は、株式等関係損益の減少や与信関係費用の増加等を主因として、前年同期比80億9百万円減少して187億41百万円となり、四半期純利益は、前年同期比56億29百万円減少して139億92百万円となりました。
- ・ コア業務純益は、役務取引等利益やその他業務利益の減少等を主因として、前年同期比23億47百万円減少して163億77百万円となりました。

	2019年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
経常収益	65,568	2,692	62,876		82,598
業務粗利益	37,940	△ 4,799	42,739		54,355
資金利益	38,933	1,146	37,787		49,435
役務取引等利益	4,675	△ 1,318	5,993		7,753
特定取引利益	△ 2	△ 25	23		23
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 5,665 (270)	△ 4,600 (△ 2,448)	△ 1,065 (2,718)		△ 2,855 (2,383)
経費(除く臨時処理分)(△)	21,291	△ 5	21,296		28,222
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	16,648	△ 4,794	21,442		26,133
コア業務純益	16,377	△ 2,347	18,724		23,750
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	△ 113	△ 113	-		△ 102
業務純益	16,761	△ 4,681	21,442		26,235
臨時損益	1,988	△ 3,332	5,320		6,559
うち株式等関係損益	4,161	△ 2,766	6,927		8,366
うち不良債権処理額(△) ②	2,820	2,768	52		831
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	△ 81	81		-
うち償却債権取立益 ④	6	△ 8	14		15
経常利益	18,741	△ 8,009	26,750		32,778
特別損益	△ 56	△ 437	381		361
税引前四半期(当期)純利益	18,685	△ 8,446	27,131		33,139
法人税等合計(△)	4,692	△ 2,817	7,509		9,113
四半期(当期)純利益	13,992	△ 5,629	19,621		24,025
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	2,700	2,743	△ 43		713

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
 3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
 4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

②もみじ銀行

- ・ 経常収益は、資金運用収益や役員取引等収益の減少等を主因として、前年同期比31億48百万円減少して308億87百万円となりました。
- ・ 経常利益は、資金利益や役員取引等利益の減少、与信関係費用の増加等を主因として、前年同期比32億78百万円減少して71億96百万円となり、四半期純利益は、前年同期比17億6百万円減少して59億99百万円となりました。
- ・ コア業務純益は、資金利益や役員取引等利益の減少等を主因として、前年同期比43億16百万円減少して61億3百万円となりました。

	2019年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
経常収益	30,887	△ 3,148	34,035		44,610
業務粗利益	22,689	△ 3,710	26,399		33,546
資金利益	20,776	△ 3,343	24,119		31,096
役員取引等利益	1,741	△ 1,136	2,877		3,664
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	171 (652)	767 (703)	△ 596 (△ 51)		△ 1,214 (△ 554)
経費(除く臨時処理分)(△)	15,933	△ 98	16,031		21,114
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,756	△ 3,611	10,367		12,432
コア業務純益	6,103	△ 4,316	10,419		12,987
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	346	346	-		△ 527
業務純益	6,409	△ 3,958	10,367		12,959
臨時損益	787	680	107		△ 903
うち株式等関係損益	1,075	500	575		731
うち不良債権処理額(△) ②	73	△ 46	119		1,453
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	△ 457	457		-
うち償却債権取立益 ④	1	△ 1	2		8
経常利益	7,196	△ 3,278	10,474		12,054
特別損益	△ 7	△ 1	△ 6		101
税引前四半期(当期)純利益	7,189	△ 3,278	10,467		12,155
法人税等合計(△)	1,189	△ 1,572	2,761		3,046
四半期(当期)純利益	5,999	△ 1,706	7,705		9,109
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	418	758	△ 340		916

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
 3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
 4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

③北九州銀行

- ・ 経常収益は、資金運用収益が増加したものの、役員取引等収益の減少等を主因として、前年同期比78百万円減少して105億59百万円となりました。
- ・ 経常利益は、役員取引等利益の減少や与信関係費用の増加等を主因として、前年同期比5億81百万円減少して23億93百万円となり、四半期純利益は、前年同期比3億34百万円減少して18億45百万円となりました。
- ・ コア業務純益は、資金利益等の増加や経費の減少等を主因として、前年同期比2億90百万円増加して29億75百万円となりました。

	2019年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 第3四半期 (9カ月)		2018年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
経常収益	10,559	△ 78	10,637		14,890
業務粗利益	8,810	△ 57	8,867		11,788
資金利益	8,409	267	8,142		10,823
役員取引等利益	284	△ 319	603		758
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	116 (-)	△ 4 (△ 0)	120 (0)		205 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	5,835	△ 345	6,180		8,142
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,975	289	2,686		3,645
コア業務純益	2,975	290	2,685		3,645
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	△ 157	△ 157	-		-
業務純益	3,132	446	2,686		3,645
臨時損益	△ 738	△ 1,025	287		1,079
うち株式等関係損益	△ 33	△ 36	3		313
うち不良債権処理額(△) ②	843	834	9		17
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	△ 189	189		565
うち償却債権取立益 ④	0	0	-		-
経常利益	2,393	△ 581	2,974		4,725
特別損益	△ 2	3	△ 5		△ 10
税引前四半期(当期)純利益	2,391	△ 577	2,968		4,715
法人税等合計(△)	545	△ 244	789		1,265
四半期(当期)純利益	1,845	△ 334	2,179		3,449
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	686	866	△ 180		△ 548

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
 3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
 4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】

- 山口銀行の不良債権額は前年同期末比24億円増加し、不良債権比率は前年同期末比0.01ポイント上昇しました。
- もみじ銀行の不良債権額は前年同期末比6億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.06ポイント低下しました。
- 北九州銀行の不良債権額は前年同期末比2億円増加し、不良債権比率は前年同期末比0.05ポイント低下しました。

		(単位:億円、%)		【参考】(単位:億円、%)
		2018年12月末	2017年12月末	2018年9月末
3行合算	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	340	334	326
	危険債権	450	438	441
	要管理債権	130	128	137
	合計	921	901	905
	総与信に占める開示額の割合	1.24	1.26	1.22
山口銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	133	137	133
	危険債権	240	213	224
	要管理債権	76	75	78
	合計	450	426	436
	総与信に占める開示額の割合	1.13	1.12	1.10
もみじ銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	143	142	138
	危険債権	152	157	160
	要管理債権	28	29	29
	合計	324	330	328
	総与信に占める開示額の割合	1.43	1.49	1.45
北九州銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	63	54	54
	危険債権	58	66	56
	要管理債権	24	23	29
	合計	146	144	141
	総与信に占める開示額の割合	1.24	1.29	1.21

(注)1. 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリー(以下、「開示区分」という。)により分類しております。

2017年12月末・2018年12月末の各開示区分の金額は、9月末から12月末までに倒産・不渡り・延滞等の客観的事実並びに信用格付の変動等を反映させた12月末時点における各残高を記載しております。

2. 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 … 破綻先、実質破綻先の債権

危険債権 … 破綻懸念先の債権

要管理債権 … 要注意先のうち、元本もしくは利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

・3行合算の「その他有価証券」の評価差額は、前年同期末比544億円減少し、515億円の評価益となりました。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		2018年12月末		2017年12月末		2018年9月末	
		時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
3行合算	その他有価証券	14,156	515	17,205	1,059	15,749	771
	株式	1,269	720	1,645	1,068	1,422	879
	債券	8,441	51	12,358	82	10,512	0
	その他	4,444	△256	3,200	△91	3,814	△108
山口銀行	その他有価証券	8,263	376	10,793	755	9,623	544
	株式	886	501	1,143	744	987	609
	債券	4,314	27	7,574	61	5,991	△0
	その他	3,062	△152	2,075	△50	2,644	△65
もみじ銀行	その他有価証券	5,564	△46	5,987	25	5,758	1
	株式	108	38	133	49	119	48
	債券	4,074	20	4,729	16	4,468	△2
	その他	1,382	△104	1,125	△40	1,170	△43
北九州銀行	その他有価証券	327	184	423	277	368	225
	株式	274	180	368	273	315	221
	債券	53	4	55	4	52	3
	その他	-	-	-	-	-	-

(注)1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券に係る「含み損益」は以下のとおりであります。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		2018年12月末		2017年12月末		2018年9月末	
		帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
3行合算	満期保有目的の債券	86	1	73	1	78	1
山口銀行	満期保有目的の債券	10	0	9	0	11	0
もみじ銀行	満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-
北九州銀行	満期保有目的の債券	75	1	64	1	67	0

4. 預金・貸出金等の状況

(1) 預金・譲渡性預金の残高【単体】

- ・3行合算の預金・譲渡性預金の残高は、譲渡性預金は減少したものの個人預金等が増加し、前年同期末比1,055億円増加して9兆2,848億円となりました。
- ・山口銀行は、前年同期末比166億円減少して5兆1,755億円となりました。
- ・もみじ銀行は、前年同期末比497億円増加して3兆179億円となりました。
- ・北九州銀行は、前年同期末比725億円増加して1兆913億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		2018年12月末	2017年12月末	2018年9月末
3行合算	預金・譲渡性預金	92,848	91,793	93,990
	預金	87,970	86,123	88,403
	譲渡性預金	4,878	5,669	5,586
山口銀行	預金・譲渡性預金	51,755	51,921	52,838
	預金	49,471	48,390	49,595
	譲渡性預金	2,284	3,531	3,242
もみじ銀行	預金・譲渡性預金	30,179	29,682	29,868
	預金	29,132	28,783	29,036
	譲渡性預金	1,047	899	832
北九州銀行	預金・譲渡性預金	10,913	10,188	11,283
	預金	9,366	8,949	9,772
	譲渡性預金	1,546	1,239	1,510

(2) 個人預り資産の残高【単体】

- ・3行合算の個人預り資産残高は、前年同期末比195億円増加して、8,718億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		2018年12月末	2017年12月末	2018年9月末
3行合算	公共債	85	106	91
	保険	8,056	7,703	7,970
	投資信託	577	713	643
	合計	8,718	8,523	8,705
山口銀行	公共債	37	44	38
	保険	3,622	3,420	3,579
	投資信託	295	365	325
	合計	3,956	3,829	3,944
もみじ銀行	公共債	36	44	38
	保険	4,100	3,959	4,068
	投資信託	240	300	271
	合計	4,377	4,304	4,378
北九州銀行	公共債	11	18	14
	保険	333	323	322
	投資信託	40	47	45
	合計	385	388	382

(注) 投資信託は時価ベース、公共債は額面ベース、保険(平準払保険を含まない年金保険・終身保険等)は販売額の累計ベースです。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		2018年12月末	2017年12月末	2018年9月末
ワイエム証券	債券	612	683	644
	株式	480	576	570
	投資信託	923	1,157	1,054
	その他	152	292	177
	合計	2,168	2,710	2,447

(注) ワイエム証券は時価ベースで、その他にはMRF等を含んでおります。

(3) 貸出金の残高【単体】

- 3行合算の貸出金残高は、前年同期末比2,719億円増加して7兆3,497億円となりました。
- 山口銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比1,642億円増加して3兆9,418億円となりました。
- もみじ銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比500億円増加して2兆2,441億円となりました。
- 北九州銀行は、個人向け及び法人向け貸出を中心に前年同期末比577億円増加して1兆1,637億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		2018年12月末	2017年12月末	2018年9月末
3行合算	貸出金	73,497	70,778	73,109
	うち個人ローン	13,981	13,535	13,873
	うち住宅ローン	12,704	12,209	12,564
	うちその他ローン	1,277	1,326	1,308
	中小企業等貸出金 (A)	42,842	41,612	42,373
	貸出金残高(国内) (B)	73,214	70,470	72,822
	中小企業等貸出金比率 (A) / (B)	58.51%	59.04%	58.18%
	山口銀行	貸出金	39,418	37,776
うち個人ローン		6,387	6,246	6,362
うち住宅ローン		5,749	5,573	5,708
うちその他ローン		637	673	653
中小企業等貸出金 (C)		18,931	18,218	18,666
貸出金残高(国内) (D)		39,136	37,468	39,010
中小企業等貸出金比率 (C) / (D)		48.37%	48.62%	47.84%
もみじ銀行	貸出金	22,441	21,941	22,353
	うち個人ローン	5,261	5,219	5,242
	うち住宅ローン	4,956	4,897	4,932
	うちその他ローン	304	321	309
	中小企業等貸出金 (E)	15,127	15,060	15,078
	貸出金残高(国内) (F)	22,441	21,941	22,353
	中小企業等貸出金比率 (E) / (F)	67.40%	68.63%	67.45%
北九州銀行	貸出金	11,637	11,060	11,459
	うち個人ローン	2,333	2,069	2,268
	うち住宅ローン	1,998	1,738	1,923
	うちその他ローン	335	331	345
	中小企業等貸出金 (G)	8,783	8,333	8,629
	貸出金残高(国内) (H)	11,637	11,060	11,459
	中小企業等貸出金比率 (G) / (H)	75.47%	75.34%	75.30%

(注)「中小企業等貸出金」及び「貸出金残高(国内)」には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

5. 自己資本比率

2018年12月末時点の自己資本比率(当社及び山口銀行:国際統一基準、もみじ銀行及び北九州銀行:国内基準)につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。